

新聞読んだ 考えた

2025年1月10日付1面「豪雪死者7人、けが92人 県内今冬 雪下ろし、除雪中」 県内の今冬の豪雪による死者が計7人に上ったことが1月9日、県や東奥日報社のまとめで分かった。負傷者は計92人となった。負傷者の大半が屋根の雪下ろしや除雪中の事故だった。

八戸学院光星高3年 千葉 詩歩子さん



危険な屋根雪 対策万全に

この冬の青森県内の豪雪によって、7人も人が亡くなり、92人もけがをしたと知り、悲しかった。亡くなった方や負傷者のほとんどが屋根雪の関係だということだ。身のまわりでも、いつ屋根の雪が落ちてきて

もおかしくない状態の建物が多いので怖いと思った。私の実家は青森市だが、帰省した時、例年とは比べものにならないほどの雪の量に驚いた。何時間雪かきをして、次の日にはまた雪が積もっていて、毎日汗

をかきながら家族で雪かきをした。その時、私は何人かで雪かきをしていたため、お互いに安全を確認しながらできていたが、一人で雪かきをする人もいたので心配に思った。

根の雪下ろしをしないわけにもいかない。屋根雪による事故が多いので、ヘルメットや命綱を付け、複数人で作業するなど細心の注意を払って行うことが大切だと思った。